

学級活動
------

生徒会活動
-------

○ 学校行事
--------

## 令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「縦割り活動の充実」		

### ◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
縦割り活動に力を入れ始めて3年が経過しようとしている。生徒たちの中で、行事や委員会、掃除等、縦のつながりを意識しようとする姿が見られるようになってきた。	自ら考え、行動し、生徒自身の力で、学級や学年、学校全体を動かしていくことができる生徒 「自己有用感」「自主性」「思考力・表現力」



### ◆ 取組の具体的内容

#### 取組を実施する意図及びねらい

縦割り活動を通して、生徒同士の関わり合いのなかで自己有用感の向上を育む。また、生徒が主体的に企画を立案、計画していくことを通して自治力や組織力を高めることを目的とする。

#### 取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等

○取組（創意工夫を含む）について

- ①体育祭では、各学年から団長・副団長を選出し、各学年や全体の場で活躍できる場面を設けた。ブロック（縦割り）種目については生徒が企画し、種目を決定した。【自己決定の場の提供】3年生が中心となってグループや走順、練習方法を考え、ブロック全体を動かした。【共感的な人間関係の育成】体育祭終了後には、全体の前で団長と副団長から振り返りをさせ、全体で頑張りを誇る場面を設けた。【自己存在感の感受】
- ②文化活動発表会では、ステージ発表の一つである「廿中ソーラン」を踊る有志を募り、夏季休業中から生徒だけで練習をし（上級生が下級生に指導）、3年生から後輩へ伝統を繋ぐ取組の一つとなっている【自己決定の場の提供・自己存在感の感受】。また、合唱練習ではブロック練習の時間を作り、各クラスの合唱を見せ合うなかで、良い点や改善点を交流した【共感的な人間関係の育成】。
- ③ブロック内で励ましや感謝の気持ちを伝えるメッセージカードを交換する取組を行った。また、保護者からの感想を生徒玄関に掲示したりした。【共感的な人間関係の育成】

○生徒の変容について（振り返り用紙より抜粋）

- ・今回をきっかけに、クラスメイトの知らなかった一面を見ることができた【共感的な人間関係の育成】。
- ・みんなで協力したことで最優秀賞をとることができた。自分も最優秀賞をとることに貢献できた【自己存在感の感受】。

### ◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

○自己有用感については、全校生徒の85.9%が感じることができた。リーダーを中心に、縦割り活動における動き方が浸透し、昨年度よりも生徒の力を発揮する場面が多く見られた。また、生徒一人一人が、それぞれの集団のなかで、自己の役割を果たしたり、仲間と協力したりしながら、目標に向かっていきいきと活動している姿も多く見られた。

●生徒に対するフィードバックを、生徒同士でできるようにする。取組中や事後でのフィードバックを効果的に仕組み、行事が単発で終わるのではなく、年間を通して、自治力や組織力を高めていきたい。